

### 寄贈図書リスト

- ① シリーズ〈理論物理の探求〉3 重力レンズ, 大栗真宗, A5判, 256ページ, 4,000円+税, 朝倉書店

- ② シリーズ現代の天文学8 ブラックホールと高エネルギー現象 [第2版], 小山勝二 嶺重慎 馬場彩, A5判, 312ページ, 2,800円+税, 日本評論社

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日に締切り、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

記事の投稿は、e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

### 人事公募結果

#### 東京都立大学理学研究科物理学専攻 准教授

1. 掲載号: 2024年9月(第117巻9号)
2. 結果(前所属): 本橋隼人(工学院大学)
3. 着任時期: 2025年4月1日

### 人事公募

#### 東京大学宇宙線研究所 准教授

1. 職名及び公募人員: 准教授 1名
2. 職務内容(専門分野)等:  
本研究所属神岡宇宙素粒子研究施設に所属し、同施設が推進するハイパーカミオカンデ検出器の建設とコミッションングの中心となる方を求めます。さらにニュートリノ物理学および天文学、核子崩壊探索などでの研究成果導出を行っていただきます。また本研究施設の維持・運営にも参加していただきます。  
※変更の範囲: 配置換、兼務及び出向を命じることがあります。(意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。)
3. 勤務地: 宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設(岐阜県飛騨市神岡町)  
※変更の範囲: 本学の指定する場所(配置換又は出向を意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。)

4. 応募資格: 雇用の時点で博士号を取得していること
5. 着任時期: 決定後なるべく早い時期
6. 待遇: 給与は本学の規定に基づき経歴等により決定します。保険は文部科学省共済組合と雇用保険に加入します。
7. 任期: 5年, 再任可
8. 就業日・就業時間: 専門業務型裁量労働制により, 1日あたり7時間45分・週5日勤務したものとみなされます。
9. 休日: 土・日, 祝日, 年末年始(12月29日~1月3日)
10. 選考: 選考委員会による書類選考(第一次審査)を行い, 最終選考は, 面接によります。(面接を受けていただく方には詳細を連絡します。)
11. 応募書類: 以下(1)~(7)の書類をEメールに添付で提出してください。(6)の推薦書または意見書は, 作成者からEメールに添付で応募締切日までに提出してください。応募書類・推薦書・意見書の電子ファイル形式はpdfとします。(応募書類の提出に対しては, 受信した旨の返信をいたしますので, 必ず当方からの返信の有無を確認してください。)
  - (1) 履歴書(市販の様式相当, 博士号の有無, 電子メールアドレスを必ず記入のこと)
  - (2) 研究歴(A4判で3ページ以内)
  - (3) 業績リスト(論文リスト, 研究発表リスト等), 及び主要論文(3編以内)。提出する論文については論文リストに印を付け, 一目でわかるようにすること。
  - (4) 着任可能時期
  - (5) 着任後の研究計画(A4判で3ページ以内)
  - (6) 推薦書又は意見書2通
  - (7) 学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とす

る過去の刑事罰、行政処分及び懲戒処分にかかる申告書

※(7)については、以下URLから様式をダウンロードしてください。

<https://proself.icrr.u-tokyo.ac.jp/public/kv2cAAnP9ERAtf0B4m-PaXyksfRZ0XTwTKCHopOB5XHB>

12. 応募締切：2025年4月2日(水) 正午必着

13. その他：

- (1) 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。
- (2) 外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があることから、このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。
- (3) 試用期間あり（14日間）
- (4) 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）

14. 送付先：

Eメール [application\\_at\\_icrr.u-tokyo.ac.jp](mailto:application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp)  
 (メールを送信する際は\_at\_を@に直してください)  
 メール の件名に公募番号の「ICRR2024-12」を明記してください。

15. 問い合わせ先：

神岡宇宙素粒子研究施設長 塩澤真人  
 電話 0578-85-9611

Eメール [masato\\_at\\_km.icrr.u-tokyo.ac.jp](mailto:masato_at_km.icrr.u-tokyo.ac.jp)  
 (メールを送信する際は\_at\_を@に直してください)

16. 募集者名称：国立大学法人東京大学

原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。）

3. 勤務地：宇宙線研究所（千葉県柏市柏の葉5-1-5）

※変更の範囲：本学の指定する場所（配置換又は出向を意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。）

4. 応募資格：雇用の時点で博士号を取得していること

5. 着任時期：決定後なるべく早い時期

6. 待遇：給与は本学の規定に基づき経歴等により決定します。保険は文部科学省共済組合と雇用保険に加入します。

7. 任期：任期5年。着任後約3年間をテニュアトラック期間とし、3年近く経過した時点でテニュア着任の審査を行い、審査で認められれば任期なしに移行します。テニュアトラック期間は、研究予算100万円/年のスタートアップ支援をいたします。

8. 就業日・就業時間：専門業務型裁量労働制により、1日あたり7時間45分・週5日勤務したものとみなされます。

9. 休日：土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

10. 選考：選考委員会による書類選考（第一次審査）を行い、最終選考は、面接によります。（面接を受けていただく方には詳細を連絡します。）

11. 応募書類：以下（1）から（7）までの書類をEメールに添付で提出してください。（6）の推薦書又は意見書は、作成者からEメールに添付で応募締切日までに提出してください。応募書類・推薦書・意見書のファイル形式はpdfとします。（応募書類の提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。）

(1) 履歴書

(2) 研究歴（A4判で3頁以内）

(3) 着任後の研究計画（A4判で3頁以内）

(4) 業績リスト（論文リスト、研究発表リスト、外部資金獲得状況等）及び主要論文（5編以内）。提出する論文については論文リストに印を付け、一目でわかるようにすること。

(5) 着任可能時期

(6) 推薦書又は意見書2通

(7) 学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の刑事罰、行政処分及び懲戒処分にかかる申告書

## 東京大学宇宙線研究所 准教授

### (テニュアトラック)

1. 職種及び公募人員：准教授（テニュアトラック）1名

2. 職務内容（専門分野）等：国際ガンマ線天文台CTAOの大口径望遠鏡アレイの建設を推進し、望遠鏡の管理・運用を担い、高エネルギーガンマ線の観測的研究によって、宇宙物理学、宇宙素粒子物理学、マルチメッセンジャー天文学の発展に貢献できる方を求めます。

※変更の範囲：配置換、兼務及び出向を命じることがあります。（意に反して命じられることは

※(7)については、以下URLから様式をダウンロードください。

<https://proself.icrr.u-tokyo.ac.jp/public/kv2cAAnP9ERAtI0B4m-PaXyksfRZ0XTwTKCHopOB5XHB>

12. 応募締切: 2025年3月24日(月) 正午必着

13. その他:

- (1) 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。
- (2) 外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があることから、このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。
- (3) 試用期間あり (14日間)
- (4) 受動喫煙防止措置の状況: 敷地内禁煙 (屋外に喫煙場所あり)

14. 送付先:

Eメール [application\\_at\\_icrr.u-tokyo.ac.jp](mailto:application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp)

(メールを送信する際は\_at\_を@に直してください)  
メールの件名に公募番号の「ICRR2024-14」を明記してください。

15. 問い合わせ先: カナリア高エネルギー宇宙物理観測研究施設長 窪 秀利

電話 04-7136-3136

Eメール [kubo\\_at\\_icrr.u-tokyo.ac.jp](mailto:kubo_at_icrr.u-tokyo.ac.jp)

(メールを送信する際は\_at\_を@に直してください)

16. 募集者名称: 国立大学法人東京大学

## 東京大学宇宙線研究所 特任助教

### 【女性限定】

1. 職種及び公募人員: 特任助教 1名
2. 職務内容(専門分野)等:

本研究所の高エネルギー宇宙線研究部門に所属し、最高エネルギー・超高エネルギー宇宙線、ならびに超高エネルギーガンマ線の観測的研究を推進していただける方を求めます。本研究所で進めているテレスコープアレイ実験とチベット ASy 実験・アルパカ実験の維持・運用・建設とデータ解析を推進していただきます。

※変更の範囲: 配置換、兼務及び出向を命じることがある(意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第

4条による。)

3. 勤務地: 宇宙線研究所(千葉県柏市5-1-5)

※変更の範囲: 本学の指定する場所(配置換又は出向を意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。)

4. 応募資格:

・雇用の時点で博士号を取得しているか、確実に取得できる見込みであること

※国籍・研究経歴によらず、広く関連する研究分野から活発な応募を期待します。

・女性であること

※東京大学は男女共同参画を推進しており、本公募では「男女雇用機会均等法」第8条の規定(女性労働者に係る措置に関する特例)に則り、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性に限定した公募を実施します。

5. 着任時期: 決定後できるだけ早い時期

6. 待遇: 「東京大学特定有期雇用教職員の就業に関する規程」(平成16年4月1日制定)に定める特任助教とします。同規程に基づき、給与は経歴により決定します。保険は文部科学省共済組合と雇用保険に加入、手当は通勤手当を支給します。

7. 任期: 雇用は年度ごとに更新し、最長で5年間とします。

8. 就業時間: 専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分・週5日勤務したものとみなされます。

9. 休日: 土・日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)

10. 選考: 選考委員会による書類選考(第一次審査)を行い、最終選考は、面接によります。(面接を受けていただく方には詳細を連絡します。)

11. 応募締切: 2025年3月28日(金) 12時必着

12. 応募書類: 以下(1)から(6)までの書類をEメールに添付で提出してください。(7)の推薦書又は意見書は、作成者からEメールに添付で応募締切日までに提出してください。応募書類・推薦書・意見書の電子ファイル形式はpdfとします。(応募書類の提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。)

(1) 履歴書(市販の様式相当、博士号の有無・取得見込み、電子メールアドレスを必ず記入のこと)

(2) 研究歴(A4判で3ページ以内)

(3) 業績リスト(論文リスト、研究発表リスト

等), 及び主要論文 (3編以内). 提出する論文については論文リストに印を付け, 一目でわかるようにすること.

- (4) 着任可能時期
- (5) 着任後の研究計画 (A4判で3ページ以内)
- (6) 学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の刑事罰, 行政処分及び懲戒処分にかかる申告書
- (7) 推薦書又は意見書2通

※(6)については, 以下URLから様式をダウンロードしてください.

<https://proself.icrr.u-tokyo.ac.jp/public/kv2cAAAnP9ERAtf0B4m-PaXyksfRZ0XTwTKCHopOB5XHB>

### 13. その他:

- (1) 採用時点で, 外国法人, 外国政府等と個人として契約している場合や, 外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合, 外為法の定めにより, 一定の技術の共有が制限され, 結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります. このような場合, 当該契約・利益については, 職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります.
- (2) 試用期間あり (14日間)
- (3) 受動喫煙防止措置の状況: 敷地内禁煙 (屋外に喫煙場所あり)

### 14. 送付先:

Eメール [application\\_at\\_icrr.u-tokyo.ac.jp](mailto:application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp)  
(メールを送信する際は\_at\_を@に直してください)  
件名に公募番号の「ICRR2024-16」を明記してください.

### 15. 問い合わせ先:

高エネルギー宇宙線研究部門 荻尾彰一  
電話 04-7136-3100

Eメール [sogio\\_at\\_icrr.u-tokyo.ac.jp](mailto:sogio_at_icrr.u-tokyo.ac.jp)  
(メールを送信する際は\_at\_を@に直してください)

### 16. 募集者名称: 国立大学法人東京大学

## 会務案内

### 2024年度日本天文学会日本天文遺産について

2025年1月14日の代議員総会において, 次のように決定しましたのでご報告いたします.

#### ◇臨時緯度観測所本館 (木村榮記念館)

所有者: 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 (国立天文台)

管理者: 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 (国立天文台 水沢VLBI観測所)

#### ◇三鷹200MHz太陽電波望遠鏡

所有者: 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 (国立天文台)

管理者: 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 (国立天文台 野辺山宇宙電波観測所)

#### ◇花山天文台 (本館、別館、子午線館)

所有者: 国立大学法人 京都大学

管理者: 国立大学法人 京都大学 (大学院理学研究科附属天文台)

### 「日本天文学会行動規範」の制定について

「日本天文学会行動規範」(日本語版)が制定されましたので, お知らせします.

「行動規範」の策定を担当する当タスクフォースは, 2024年6月に実務理事会からの諮問により発足し, 秋季年会における活動や若手の会へのアンケート, 下記に報告する tennet での大規模アンケート等の結果を踏まえ, 2024年12月17日に最終案を実務理事へ答申しました. 2024年12月26日の理事会承認, 2025年1月14日の代議員総会における承認を経て, 井田茂会長から報告 (tennet#2005 2025年2月6日発; 学会ウェブサイトお知らせ欄2月10日付)がありましたように, 「日本天文学会行動規範」が制定されました. すでに学会ウェブサイトに掲載されています (<https://www.asj.or.jp/about/code-of-conduct/>).

我々タスクフォースの行動規範の策定の大方針は, 〈大多数の会員にとって「本当に必要な最小限」とすること〉でした. 従って, 何が会員にとってあるいは学会にとって大切なのか, 多様なメンバーの視点から, 密に議論を重ねました. 発足以来, 月に1~3回のペースで合計12回のオンライン会合とメール審議, ならびに実務理事会や関連委員会との意見交換等を適宜行い, 最終案の策定に至りました.

tennet アンケートの結果概要は, タスクフォースからの『「行動規範」アンケートご協力への感謝と結果のご報告』(tennet#1845 2024年12月26日発; 学会ウェブサイトお知らせ欄2025年1月7日付)で報告しましたが, 天文月報誌面でもお知らせします.

アンケート実施期間: 2024年10月28日~11月25日

回答数：628

回答率：tennetに登録されている正会員数（2,039名）の31%

「行動規範」導入への賛成割合：96%

コメント総数：226

通常、回答率30%がアンケート成功の目安とされますので、上記回答率により、結果はおおむね会員の総意を表していると考えられます。ここで、「正会員」とは、日本天文学会定款で「本会の運営に責任を持つ個人」と定義されている会員です。タスクフォースでは、tennet調査で会員から頂いたご意見をすべて分析・検討し、必要に応じて最終案に反映されるよう、努力しました。多くの会員の方々からの貴重なご意見を、あらためて感謝致します。

この記事の投稿時点（2025年2月20日）において、日本語版に続いて、2025年春季年会時の理事会および代議員総会において英語版の日本天文学会行動規範（Code of Conduct）が承認されることを目指しています。このたび制定された「行動規範」、ならびに制定される見込みの英語版「Code of Conduct」が、ともに日本天文学会の礎となり、会員の自由闊達な活動を明るく照らしていくことを、タスクフォースメンバー一同、願っております。

行動規範に係る、より細かな内容に関しては、今後、会長をはじめとする実務理事のリーダーシップのもと、細則等に反映されていくことと思います。英語版の「Code of Conduct」が制定されたのちは、実務理事会からの諮問により、当タスクフォースは、「ハラスメント防止ガイドライン」(案)の策定にうつる予定です。実務理事会からの諮問にいたる経緯の説明は、上述の『「行動規範」アンケートご協力への感謝と結果のご報告』にありますので、会長からの報告とあわせて、ご参照ください。

Code of Conduct/ハラスメント防止ガイドライン策定タスクフォースメンバー一同：

望月優子（理研：座長）、片岡章雅（NAOJ）、日下部晴香（NAOJ）、小松英一郎（MPA）、新永浩子（鹿児島大）、野村英子（NAOJ）、林左絵子（Kavli IPMU）

## 欧文研究報告（PASJ）からのお知らせ

### (1) 本文掲載料の半額化

より多くの皆様にご投稿いただくため、期間限定で本文掲載料を半額とするキャンペーンを実施します。

対象となるのは2025年4月1日から2026年3月31日までの期間に投稿された論文です。この期間の投稿

であれば会員資格に関係なくどなたでも掲載料が半額となります。従来通り、条件を満たす場合はさらに正会員割引が適用されます。対象期間中の本文掲載料は以下の通りです。

一般3,000円/頁、正会員割引後2,100円/頁

正会員割引は、筆頭がどうかにかかわらず著者に正会員が含まれており、投稿査読システムに正会員の方の会員番号を入力した場合にのみ適用されます。

本文中に挿入し難い長大な表や大量の図、動画が付随する場合、それらを電子付録（supplementary data）として無料で掲載することができます。Supplementary dataの利用により、本文掲載料の半額化に加えて更に経済的に論文の掲載が可能ですので是非ご活用ください。

なお、オープンアクセス論文掲載料は半額化の対象外です。

### (2) オープンアクセス（OA）論文の出版支援制度（Read & Publish）

出版委託先のOUP社では複数の大学と購読料とOA論文掲載料の前払いを一括するRead & Publish契約を結んでいます。契約大学数は年々増え、2025年3月現在では25大学となりました。

Read & Publishは、OUPと各大学間で設定の利用条件により論文掲載料の支払が免除または割引となる制度で、投稿時に契約大学に所属される方が連絡担当著者である場合に利用可能です。各大学での利用条件の詳細は大学図書館へお尋ねください。契約大学に所属される方には、この制度の利用をお勧めします。

利用時の案内や契約大学一覧などの情報は下記ページをご覧ください。

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/pasj/>

### (3) 各種指標の提供

電子版サイトでは、各掲載論文の影響力を可視化するために以下の指標を提供しています。これらの指標により論文の評価や広がりを客観的に把握することができます。論文の閲覧制限の有無に関係なくどなたでもご覧いただけますので、ご活用ください。

- Citations

書誌情報を含む多様な研究情報を網羅するデータベース「Dimensions」による被引用数の分析。

- Views

電子版サイト上での閲覧およびダウンロード数。

- Altmetrics

SNSやウェブニュース、Mendeleyでの文献保存数などWeb上での反響指標。

何かご不明な点がございましたらPASJ編集部へお問い合わせください (office@pasj.asj.or.jp)。

今後も、研究成果を発信する魅力的な論文誌となるよう、さらなる充実を図ってまいります。

皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

欧文研究報告編集委員会

## 現代の天文学 英語版「Position and Motion of Celestial Bodies」刊行のお知らせ

日本天文学会では創立100周年記念出版事業である「シリーズ 現代の天文学」の英語版刊行を以前より計画しておりました。

このたび第13巻「天体の位置と運動」の英語版として「Position and Motion of Celestial Bodies (ed. Toshio Fukushima)」をSpringer Nature社より刊行いたしました。

<https://link.springer.com/book/10.1007/978-981-97-5448-9>

日本語版と同じく大学院生の教科書と位置付けていますが、単なる英訳本ではなく新たに執筆されたコラムや演習問題も含まれているのが特徴です。

この本の出版にご尽力いただいた執筆者および編者の皆様に深く感謝申し上げます。

是非、広く皆様に読んでいただけると幸いです。

日本天文学会第2版化WG 代表 茂山俊和

### 編集委員より

## 天文月報オンライン記事全公開のお知らせ

天文月報オンラインでは、これまで一部の記事を発行後一年間アクセス制限することにより、会員限定で公開していました。2025年4月号よりアクセス制限をやめ、過去一年間のバックナンバーも含めすべての記事をパスワード無しで読めるようになります。

今後一層、天文月報オンラインを日本の天文学の普及にお役立ていただければ幸いです。

## 天文月報記事投稿用アップローダー

[https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author\\_submission/](https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_submission/)

### ■ログイン

ユーザー名: geppou      パスワード: toukou

### ■アップロードの仕方

アップロード画面で必要事項を埋めてください。するとアップロードに進むことができます。できる限りファイルは1つにまとめてください。ファイルが複数ある場合は「複数のファイルを投稿する」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。1回あたり全部で最大50 Mbyteまで、個数は20個まで送信できます。それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください。

### ■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またフォームのチェックや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのアップローダーは使えません。

その場合はtougou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

### ■連絡先

アップローダーに関するご質問はtougou@geppou.asj.or.jpまでお願いします。

(天文月報編集長)

## 天文月報記事ご執筆用テンプレート

SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀などのご執筆にあたりましては、日本天文学会HP内「天文月報」のページにあります「投稿用テンプレート」をご活用ください。

[https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author\\_template/](https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_template/)

TeX・LaTeXで執筆される方はテンプレートをオンライン上またはダウンロードしてご利用ください。MSWordで執筆される方はwordテンプレートをダウンロードしてご利用ください。また、ご執筆の前に必ず「執筆マニュアル」をご一読ください。

[https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author\\_manual/tex](https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_manual/tex)をご利用される場合は、あわせてreadmeもお読み下さい。

また、ご利用にあたって不具合を発見された方は、編集委員会までご連絡をお願い申し上げます

訃報

会員の白井正明氏は2024年11月11日に逝去されました。満86歳でした。ご冥福をお祈り申し上げます。

天文月報118巻5月号 主な記事

ひさき特集(2): イオの火山噴火と中性酸素トラス【古賀亮一】 ひさき衛星の火星・金星上層大気観測の成果【益永圭】 ひさき衛星で解き明かす 彗星の核近傍のガス中で生じる物理現象【鈴木雄大】

EUREKA: 超新星残骸での宇宙線加速効率の探求【霜田治朗】

〈シリーズ〉天文学者たちの昭和: 日江井榮二郎氏ロングインタビュー [第2回] 高校時代~大学院時代【高橋慶太郎】

〈シリーズ〉2040年のスペース天文学へ: MeVガンマ線天文学—2040年代への展望—【高田淳史, 小高裕和】

編集委員: 津村耕司(委員長), 岩崎一成, 小野寺仁人, 勝田哲, 川中宣太, 西澤淳, 仏坂健太, 岡本文典, 日下部展彦, 小山翔子, 志達めぐみ, 鈴木大介, 鳥海森, 信川久美子, 橋本拓也, 宮本祐介  
令和7年3月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会  
印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社  
定価733円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会  
Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487  
振込口座: 郵便振替口座00160-1-13595 日本天文学会  
三菱UFJ銀行 三鷹支店(普) 4434400 公益社団法人 日本天文学会  
日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)  
会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2025年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)